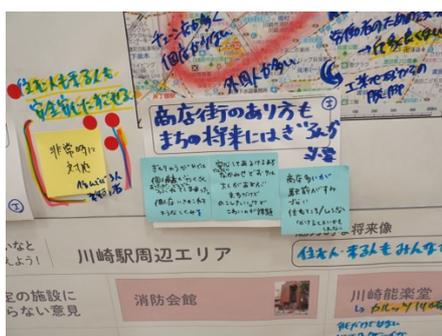


令和6年度 公共施設の未来を考えるワークショップ 第5回 記録【川崎区】

概要	
日時	令和6年11月10日（日）14:00-17:00
場所	川崎市役所本庁舎 復元棟3階301・302会議室
参加者数	18名
検討エリア	川崎駅周辺エリア 日進町・渡田新町エリア 富士見・旭町エリア 大島・渡田エリア



【川崎駅周辺エリア】

参加していないエリアの成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○情報が広く届くまちに

- ・マップなどをつくって商店を紹介し、通行人に配ってあげる
- ・お祭りの時に自転車が使えないことをもう少し広く知らせてほしい

○多様性が重要

- ・多様性が重要

○まちの将来のためには商店街のあり方の議論が必要

- ・銀柳街には個人商店がたくさんあったがどんどん潰れてしまった。個人商店が生き残れるようなしくみを
- ・安心して歩けるまちではない。仲見世通りは大人が遊ぶまちであり、残したい。だが怖いのが課題
- ・商店が多いが、駅前が住みにくい。住むところと商業を分けると良いかもしれない

○“川崎”の治安のイメージをもっと積極的に UP していこう

- ・安心安全ではない。事件などで怖いイメージがまだある
- ・治安が悪いと言われているが、愛されているまち
- ・きれいなまちにしてもらいたい気持ちは同じ
- ・人が多くなると安全になるのでは
- ・商店が潰れて住宅が歯抜けになると怖くなる
- ・川崎はまちの治安が悪い、空気が悪いと言われる

○地下道が広がると良い

- ・地下道がつながると良い
- ・地下街がつながる案が良いと思った

「起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ」についての感想

○能楽堂は、周辺の改善と多様な使い方の検討を

- ・能楽堂の入り口までの道が暗い
- ・能楽堂の隣に住んでいても足を踏み入れたことがない
- ・ピアノ、ジャズ、声楽、コンサートなど多様な使い方をすると良い
- ・能楽堂の使い方や活動の幅を広げると良い
- ・能楽堂が開いているのを見たことがない。平日には開いていない？

- ・能楽堂が舞台となるドラマを撮影すると良い

○施設をもっと知ってもらおう

- ・案内板も知らない。アピールが弱い
- ・施設がどこにあるのかが分からない。市として周知するのが先かもしれない
- ・色々なものに市の情報があるともっと広く伝わる
- ・ SNS を活用すると良い

○消防会館が知られるようなサインや PR を

- ・消防会館をもっと知られると良い。駅から近いのにもったいない
- ・近くを歩いているが、消防会館は知らなかった

○施設の名前や活用方法の改善を

- ・行ったことのない施設や古い施設は名前によって制限されているように感じるので、ネーミングを考え直す
- ・施設をもっと上手に活用できることが必要

【日進町・渡田新町エリア】

参加していないエリアの成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○子育てに高齢者はじめ地域の力を生かしていけると良い

- ・高齢者が多く住んでいると感じている。子育てに、高齢者をはじめとした地域の力を生かしていけるととても良い

「起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ」についての感想

○世代を超えた交流にはイベントなどの運営も重要になる

- ・世代を超えた交流は施設があるだけでは生まれない。世代間交流につながるイベントや運営などを考えていくと良い。また、多世代が使える機能を入れていくことが重要
- ・イベントを作ったとしても周知がとても重要。情報を届けたい人に向けて、ターゲットに合ったツールでSNS発信を行うなど

○こんな施設があると周知すれば利用率はもっと増えるのでは？

- ・知られていたら、もっと利用したい人が増えるのではないかな

○周辺がやや暗くて行きにくく、知らなかったため、せめて案内板の設置を

- ・周辺が暗い雰囲気ですり行きにくい感じがある
- ・線路沿いの道路もないので、今まで気がつかなかった
- ・案内板の設置をしたら良い

○アクセスの充実、もしくはアクセスの良いところというのは大切

- ・アクセスが悪いと使われにくいのはその通りであるため、アクセスの良い場所への移転や交通の充実を

○川崎市全体の広い視野でもっと特徴のある施設を設けても良いのでは？

- ・大同小異で、どのエリアも将来像は似たようなものがあるが、もっと広い視野で特徴のある施設を設けても良いのではないかな
- ・公共交通が川崎駅方面以外にも通っていると他地域からも利用しやすい
オンデマンドバスはあるが、500円なので高い

○ネーミングを変えると良い

- ・“ぼん”と一言で済むようなおしゃれな名前にすると良い

【富士見・旭町エリア】

参加していないエリアの成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○川崎の魅力を感じられると良い

- ・外国籍の方や他県の方からも、観光客としての利用者ができると良い
- ・市役所通りが楽しくなっているため

○宗教上食べられないものが多い人向けの飲食店も増えると良い

- ・宗教上食べられないものが多い人もいるので、それに対応する飲食店が増えると良い

○このエリアは施設がたくさんあって、正直羨ましい

- ・このエリアはたくさん施設があって羨ましい

「起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ」についての感想

○住民が公共施設のことを知って使われるようになると良い

- ・起点施設の川崎休日急患診療所と旭町こども文化センターのことはもっと周知して住民がわかるようになると良い

○新しくなった施設におしゃれなお店が入って、エリアが明るいイメージになると良い

- ・新しいカルッツかわさきや富士見公園を活用して、もう少しおしゃれな店などが入ると、暗いイメージからもっと明るいイメージになる

○施設のワークショップで作られたものを、こども食堂などで展示することで取組の宣伝に活用できると良い

- ・ワークショップでつくった絵本などをカフェやこども食堂などで展示するなどして、宣伝にも利用する

○競馬場は入ってみると遊具やBBQ 広場などもありこども連れで行きやすいが、周りは危ない印象があるので、周りの道も歩きやすい雰囲気になると良い

- ・競馬場の周りの道を、こどもだけでも通りやすくする
- ・競馬場の中の遊具は良いものがある
- ・BBQ もできる

○川崎休日急患“診療所”の名前を“医院”などへ変えると、どんなことができるのかイメージしやすい

- ・川崎休日急患“診療所”の名前を“医院”などへ変えると、どんなことができるのかイメージしやすい

○見た目が分かりにくいので明るい印象になると良い

- ・起点施設の外観が入って良いのか分かりにくいので明るい印象になると良い

- 健康啓発の場として鍼や整体などがあると良い、平日も使えるようになると良い
 - ・かわさきカルツツの利用者などで人通りが多いため、土日に利用できないことがもったいない
- 休日急患診療所は観光客や海外の人も受け入れられる場所になると良い
 - ・国際交流の拠点というアイデアを見て思いついたが、近くの病院と連携すると、観光客の方が診てもらえる
 - ・外国人も利用でき、症状を相談できる場所になると周知になる
- 休日急患診療所は休みの日でも先生がいないと閉まってもったいない
 - ・休日急患診療所は休みの日でも先生がいないと閉まってもったいない
- 人と人をつなぐファシリテーター、おせっかいチームがあると良いという視点は大切だと感じた
 - ・ハコがあっても運営してくれる人がいなければ意味がないので、この視点は大事だと思った
 - ・お試しで高校生がスキマボランティアとしてボランティアしてくれると良い
 - ・SNSでの情報発信をもっと上手にして運営スタッフを募集する
- 具体的に、誰が、誰と誰をつなぐのを知りたい
 - ・「人と人をつなげるおせっかいチームがあると良い」とのことだが、誰と誰を誰がつなぐのかを具体的に知りたい
- 旭町こども文化センターは学校以外の友達や世代が違う人と交流できる場になると良い
 - ・学校以外の友達や世代が違う人とも交流できる場所になると良い
- 施設の運営は、アメリカの事例で NPO 団体などが施設運営を担う代わりに家賃を免除する例があるので、そのようにしてはどうか
 - ・運営がボランティアだと続かないため、NPO 団体などが施設運営を担う代わりに家賃を免除する
- 旭町こども文化センターは実際使えるのは1階だけなので、空いているのであれば2～3階ももっとこどもが自由に使えると良い
 - ・旭町こども文化センターはボードゲームなどがたくさんあったが、使えるスペースは1階だけ。2階、3階は予約をしていないと入れないのでもっと開放してあげると良い
- 施設のネーミングのせいで自分は対象外だと思ってしまう
 - ・旭町こども文化センターはネーミングによって自分が行けない施設だと思ってしまう

【大島・渡田エリア】

参加していないエリアの成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○昔からのまちでも“地域のつながり”を求める声が多いことが印象的

- ・お祭りなどに地域性がでている
- ・昔からのまちでも地域のつながりを求めていると思った
- ・単身者向けマンションが多く、つながりが少ない

○公園×防災×スポーツが実現すると良い

- ・富士見公園がオープンしてウォーキングコースや健康器具ができた
- ・防災ベンチなどがあると良い。防災×スポーツにつながる

○地域同士の横のつながりが生まれにくいエリアという印象

- ・駅と住宅エリアの横のつながりが生まれにくい
- ・市民祭り以外では交流が少なかった

「起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ」についての感想

○障害者施設は利用者にも配慮した利用の仕方にしてほしい

- ・既に利用している方々に配慮した「統合」を考えてほしい

○富士見公園の連携に期待しつつ、こどもと高齢者がつながる場になってほしい

- ・老人いこいの家の利用者は元気なため、年齢制限は不要。コミュニティの場にするといい
- ・長期休み中にこどもと高齢者で交流できる使い方をするといい
- ・富士見公園の利用者が寄りやすい工夫で実現しそう
- ・公園など、人が集まる場所ができてはいるけれど、使われ方に改善の余地あり

○大島老人いこいの家は入りにくい印象なのでふらっと集まれる場所になると良い

- ・大島老人いこいの家、南部身体障害者福祉会館は、普段、開いているのか分からない。今日初めて知った
- ・「老人いこいの家」を初めて知った。利用者が少ないのはもったいない
- ・ふらっと集まれるような場所になるといいな
- ・普段入るのに躊躇する雰囲気がある

○「統合」された後の跡地がどうなるのか気になる

- ・もしも統合した場合には、その後の跡地の利用のされ方が気になる

・売られてマンションになるのか戸建住宅になるのか？

○田島小学校やかわさきカルッツなどで既に世代間交流が行われている

・田島小学校ではポッチャなどでの多世代交流の活動が既に存在している事も知って欲しい

○障害者向け施設はアクセスの良い場所に設けるべきでは？

・現在の場所はアクセスが悪くないように思えるので、障害者が利用しやすい場所にある方が良いと思う

第二部 トークセッション

ホワイトボード記録

地域の **公共施設の未来** を考える WS ⑤ 2024年 11月10日(日)

ワークショップ1回目~本日
これまでの感想

2回目
持参してきた
20年後
3~4回目
自分自身は難しいと思ってる

トーク1
公共施設を
取り巻く現状を踏まえ
気づいたこと・
感じたこと

高齢化・人口減少
身の周りで感じる
ことがありますか?

高齢化
人口減少
身の周り
高齢者
人口減少
高齢者
人口減少
高齢者
人口減少

公共施設が
**老朽化やあまり
活用されていない**
と感じることが
ありますか?

公共施設が
老朽化やあまり
活用されていない
と感じることが
ありますか?

ワークショップの
参加前・参加後
公共施設や地域に対する
見方が変化
しましたか?

参加前・参加後
公共施設や地域に対する
見方が変化
しましたか?

トーク2
公共施設の
今後を考える中で、
気づいたこと・
感じたこと

これまでのワークショップの中で
公共施設の使い方について
**印象に残った
アイデア**
はありますか?

第1部の成果をみて
使い方・ニーズなど
**印象に残ったもの
共感したもの**
はありますか?

**公共施設の可能性・
ポテンシャル**
どのように/どのあたりに
感じましたか?

アイスブレイク

○これまでのワークショップを振り返って、今の感想

- ・2回目に10年、20年、30年、将来のことを考えるプログラムがあった。現在72才で95才まで生きるつもりではいるが、街がどういふ変化をすると良いかを考えて、自分の年齢が自分のことではなく、これから先の人に対してのことを考える年齢になったと感じた
- ・川崎区は子どもの数がドンドン減っている。川崎港町トリプルタワーズシティ-リヴァリエ（タワーマンション）ができて学校の教室の数が増えた。子どもの親は働いていて、高齢者は家にいる。学童などはあるが、それ以外にも安心して親が働けるために、元気で時間に余裕のある高齢者が子どもたちと遊びながら預かることができるような場所があると良いと思った

○これまでのワークショップでやったこと（カワタン、ペルソナ設定など含め）の感想

- ・3回目、4回目のワークショップでは、「地域がどうなったら良いか」の話があったが、自分が住んでいないエリアの先々のことを考えることは難しかった。与えられた資料だけで話をしなくてはならなかったが、例えば、2~3ヶ月前に「このエリアの話をしますよ」などの情報があれば事前に足を運んでと言うことも出来たと思う
- ・公共施設は大事だと思った。有効利用がされていない施設については、もったいないので、もっとPRして使われるとよいと思った

トーク1 公共施設を取り巻く現状を踏まえ、気づいたこと・感じたこと

○高齢化・人口減少を身の周りで感じることはありますか？

- ・学校が早く終わる日や遅めの登校をする日中にバスに乗車すると、乗っている人は9割以上が高齢者である。こんなに高齢な方がいるのだと思い高齢化を感じる
- ・日中買い物に行く時、カフェを覗くと高齢者が集っている。一人の方もグループの方もほとんど高齢者である。コンビニのイートインコーナーも同様であるので、行き場が限られているのかもしれないと思う。このような状況をみると公共施設で人が集う場所が改めて必要であると感じている。公共施設で高齢者と子育て中の方との交流などもあるとよいと思う
- ・自分も川崎区で3~4年生活しているが、様々な機能が川崎市に集まってきていて、交通機関が便利で高齢者にとってもとても住みやすい街であると思っている。若い人々に高齢者が知らないことを教えてあげるようなシーンもある。高齢者は若い人に気を使っていると感じることがある
- ・父は70代だが、商店街では若手となり、仕事を辞めた時期にいろいろ頼まれていた。もっと若い人に頼めるようになってよいと思った
- ・うちの町内会は若手でも70代であり、若い人はなかなか入ってこない。今の方々は、70代まで仕事をされているから、町会より自分の生活が優先になる。町会へは60代ぐらいから10年間ぐらいはウォーミングアップ期間として、少しずつ緩やかに入ってくるとよいかもしれない

○公共施設の老朽化や、あまり活用されていないなど感じることはありますか？

- ・かわさき健康づくりセンターに行くと、ほぼ高齢者ではあるが、混雑しており施設が利用されていると感じる。このワークショップでの議論では空きスペースがあるとあったが、利用者視点では使われていると感じている
- ・能楽堂の隣に住んでいるが一回も行ったことがない。毎週火曜日の能楽教室の時と講演の時以外は全く使われていないので、もったいない。どうやって使ってよいかわからないし、能や狂言は本当に興味がある人しか行かないと思う

- ・能楽堂は、周辺が明るくないので環境を良くした方がよい
- ・ワークショップで扱った施設の中には名前も知らない施設もあって、もったいないと感じた。場所だけ知っていた施設もこれまでは人が出入りしている気配を感じていなかったが、先日、意識して通ってみたら電気がついていたので初めて「利用されている」と知ることがあった
- ・かわさき健康づくりセンターを今まで知らなかったが、機能を知って、名前と実態（機能）のイメージがかけ離れていると思った。施設のネーミングが悪い
- ・土日空いていない施設や使用者の制限がある施設があり、自分は使えないと思った。今後は、サークルなどで機会があれば利用したいと思う

○ワークショップに参加して、公共施設や地域の見方は変化しましたか？

- ・もともと興味があって勉強もしていたので、それほどイメージの違いは無かった。皆さんの話を聞いて、知ることもあった。川崎に住んでいる人がこのような会に参加されていることを知ることができて良いと思った
- ・こども文化センターなどは知っていて、施設は有効に使われていたので、公共施設は有効に使われていると思っていた。しかし、このワークショップで認識していない知らない公共施設もあることを知り、有効活用が必要だと思った
- ・知らなかった公共施設を知った。使われていない公共施設が、有効活用されるとよいと思った。これを機会に興味をもって図書館などの公共施設に行くようになった

■トーク 2 公共施設の今後を考える中で、気づいたこと・感じたこと

○これまで出したアイデアの中で印象に残ったものや思い入れのあるものを教えてください

- ・ドラマの舞台として使われると良いのではないかという意見があった
- ・こども文化センターが使われているということが印象的だった。そんなに使われているなら世代間のコミュニケーションもあったらよいのではないかと思った
- ・こども文化センターが子どもだけでなく、他の世代も使えるようにするとよいという意見もあった
- ・去年の11月、受験勉強をするとき、川崎区の図書館では勉強できるスペースがなくて宮前区の図書館まで行かないと勉強できなかった。結局、勉強する場所がなく、自習室目当てで塾にお金を払っている。川崎区には、勉強する学生、パソコンを使っている社会人がたくさんいるので、公共施設が空いているなら、勉強などでの利用スペースにすることを実現してほしい
- ・第3回・第4回のワークショップにおいて、箱モノを作るのではなく、大型スーパーに保育園や公共サービスを入れるという使い方が印象に残った。親が子どもを預け、帰りにはスーパーに寄るなどの使い方。箱モノを作るのではなく、今ある民間施設に入るという選択があるというアイデアがあった

○本日の第一部の成果をみて、使い方・ニーズについての感想で印象に残ったもの・共感したものは？

- ・平日朝の時間帯にどこか開放してくれる場所はないかという意見があった。共働きの家庭も多い中で、保護者が先に出勤しなくてはならないので、出勤する時間から学校の登校時間まで子どもの居場所として使えるとよい
- ・世代間交流があるとよいという意見が出たが、施設の機能として多世代が使える、地域の人が使えという利用者制限の変更だけでなく、それに伴うプログラムなどの運営も必要であり、周知の方法も同時に検討すべきで、どういう人が使うのかを把握してターゲットに合うメディアを選ぶことも大切という話が出た

Q 行きたい多世代交流は？

- ・ハブになる人がいることで、多世代交流は広がるのではないかと思った。仕掛けを作らないと、自走するのは難しいと思う。ファシリテーターをしてくれる人に、家賃をタダにする、会場費を無料でイベントをできるようにする、などの仕組みでアイデアのある人につなぎ役をしてもらうと良い
- ・食だと人が集まると思う。食べることでよいし、クッキングスクール的なことでもよいと思う。商店街などと一緒にするのもよいと思う
- ・川崎区では、集客力の高い食にまつわるイベントも結構あると思う。沖縄料理だったり、餃子祭りだったり、特化したものはいくつかある。外国籍の人も多いので多国籍料理もある
- ・施設がどこにあるか、何の施設かを知らないということを改めて感じた。施設の隣に住んでいても知らないことも。例えば、カルッツなどの利用が多い施設に利用が低い施設の告知を置くなど、ホームページなどはあると思うが、もうちょっとPRの手段を検討したらよい。その上で、人気のない施設は機能集約や移転なども考えられる

○公共施設の可能性・ポテンシャルをどのように感じたか、どのあたりに感じましたか？

- ・富士見公園周りやカルッツかわさがきれいになったので、うまく活用すると広がると思う
- ・ワークショップでは好き勝手に話すだけではだめだよなと思った。何かやる人に行政のバックアップが必要であると思った。人と行政の動きがリンクすると広がると思った
- ・運営する人・ハブになる人が大切だと思った。夜遅くまでやってほしいという意見があったが、運営する人がいれば安心になるのでよりよい公共施設になると思う